

<テーマ>全校で取り組む板書とノート指導（大和町立小野小学校）

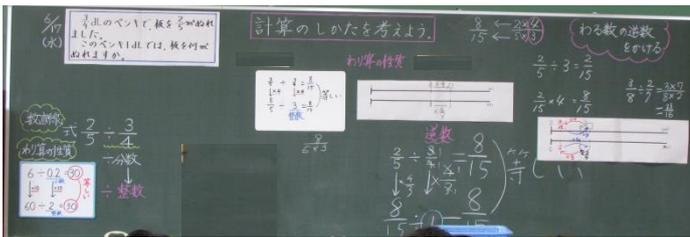
(1) 板書の全校統一

本校では、板書をする際に以下の基本的なことについて共通理解を図って取り組んでいる。

○学習問題は青色，子どもの発言（ポイントとなるもの）は黄色，学習課題とまとめは赤色で囲む。

○黒板を「学習問題から見通し」「学習課題から子どもの考え」「まとめと適用問題」の3等分した使い方を基本として，学習問題と学習課題は黒板の上部に書く。

○子どもの考えを画用紙やマグネットシートなどに書かせて提示し，それらを基に集団解決の練り合いを行う。



H27 6月 6年「分数のわり算」



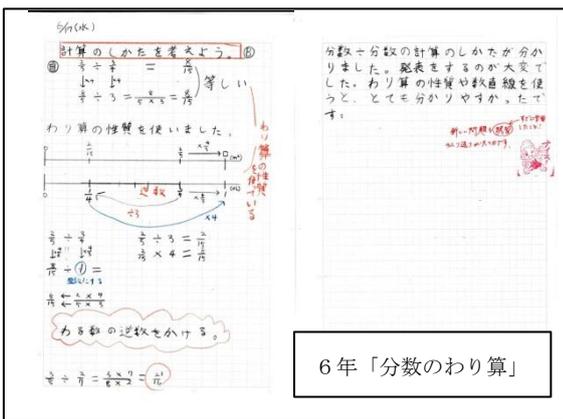
H27 7月 3年「あまりあるのわり算」

今後の課題として、『子どもの思考の流れ（練り合いの足跡）』が分かりやすい板書を目指していきたい。

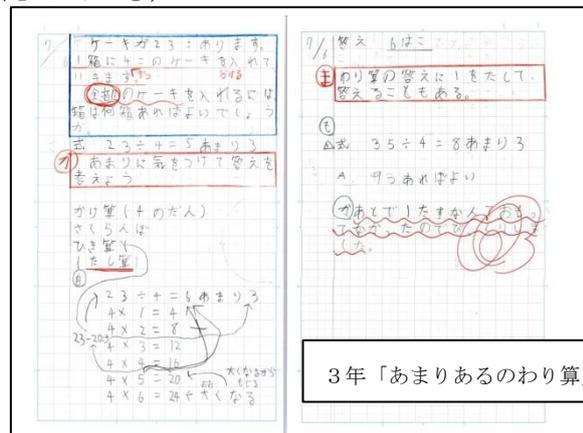
※本校では、指導案の学習過程に板書写真を掲載し、1時間の流れが分かりやすい指導案づくりに生かしている。

(2) ノート指導の全校統一

ノート指導も板書との関連を図った指導をしているので，学習問題や学習課題，まとめの囲みは板書と同じ色の直線である。また，自分の考えを図や式，言葉などで書くように指導している。（学年の実態に応じて，友達の考えや教師の説明などをメモする）さらに，授業後の振り返りとして（毎時間ではないが）学習感想を書かせ，それに対する教師からのコメントも書いている。なお，ノートの書き方については4月の授業開きの際に指導している。（学年によっては見本をコピーし，ノートに貼らせている）



6年「分数のわり算」



3年「あまりあるのわり算」

今後も『振り返りができるオリジナルノート』を目指し，6年間を見通した指導を継続していきたい。

☆ 右の写真のように，職員室前の廊下の「算数コーナー」で全学級のノートの見本を掲示している。研究部から毎月10日を『ノートの日』と設定して声掛けをし，毎月掲示している。（宮床中学校区連携事業の一環として，今後中学生のノートも掲示する予定。）



この算数コーナーは，多くの児童や保護者が目にしていて，特に下学年の児童にとって，先輩のノートは目標となっているようである。